

12月定例会概要

令和元年第4回定例会を12月10日～20日までの11日間の会期で開催しました。

初日には椎木町長より、「米軍岩国基地関連」、「大島大橋損傷事故の関連事項」、「町職員による外郭団体会計処理の不正経理及び横領着服事件に係る懲戒処分」、「電力の自由化に伴う電気料金の削減」、「東和病院診療費着服・横領事件の再発防止措置」について行政報告があり、その後提出議案の説明を受け質疑が行われました。

はじめに、専決処分として2件（車輛の事故による損害賠償）の報告があり、続いて人事案件として、監査委員（議会選出）及び固定資産評価審査委員会委員を選任しました。

●監査委員（議会選出）

小田貞利議員

●固定資産評価審査委員会委員

中原貞義氏
中田兼歳氏
竹本厚三氏
東原平典氏

次に、予算関係では、一般会計が既定の額に1億4,995万4千円を追加し、総額を150億6,278万8千円とすることのほか、各特別会計及び水道事業企業会計の補正予算に関する質疑が行われ、条例に関しては、会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について、これの審査を総務文教常任委員会へ付託することとなり、一部改正においては、一般職の職員の給与に関する条例等ほか3議案を、全部改正については、水道事業



総務文教常任委員会（総務部総務課の審査）

の設置等に関する条例ほか3議案を、最後に、ながうらスポーツ滞在型施設等の指定管理者の指定について説明と質疑が行われ、初日を終わりました。

19日の一般質問（詳細は4～9ページ）には6名の議員が登壇し、「語学留学支援の渡航先についての進捗状況やプログラム内容、病院事業の現状と今後の再編、定住促進協議会の不祥事と

今後の対応方針、小学校の統廃合、イノシシ対策、水道事業の一部委託、米軍機の事故に関する報告書に関して町民の生命・財産を守る対策、箱わなに対する助成、喫煙ルームの設置、高齢者支援、町民によるボランティア活動」について、多くの議論が交わされました。

最終日の20日は、はじめに補正予算の関係について、一般会計ほか8議案を討論・採決。次に、総務文教常任委員会の久保委員長から、条例の新規制定にかかわる審査の内容について報告があり、その後、条例の一部改正及び全部改正、また、指定管理者の指定についてを討論・採決しました。

そして、最後に病院事業改革等特別委員会の新山委員長から、昨年の委員会設置からこれまでの活動報告及び委員会からの提言（10～12ページ）があり、議員派遣を加え、本定例会に上程されたすべての議案は、原案のとおり可決のうえ閉会となりました。